

# 昔と今が交差する新町散策

約0.8km  
約60分

歴史と共に生きる人々の智恵。そこには、懐かしくも、新しい発見があります。食べ歩きしながら散策してみよう。

お土産



和  
samon  
の  
智恵

伝統は、守るだけじゃ  
続かないから。

自分たちで創っていかんと。

伝統に頼るんじゃなく、伝統から新しいもんを作る。  
そやって街はにぎわって来たんだと思っんです。  
「新町カラコロバーガー」も奇抜な発想じゃなく、  
伝統食をみんなが食べれるようにって考えてたら、  
自然とこうなっただけですよ。



名物「新町カラコロバーガー」  
辛子レンコンがバーガーに！  
昔から伝わる「食」を活かし  
つつ、現代風にアレンジ。まさ  
にわざまんの智恵。(A・1)

段山三面地藏  
加藤清正ゆかりのものと伝  
えられ、藤崎宮からこの地  
に移った。昔この道の一角は  
勢溜まりだった。(A・3)



語り部 村上カラシレンコン店の村上範年さん(左) 096-353-6795 ■090-9562-6725 きぼうの家の久保大介さん(右)

# 丸山風太郎と行く怪しい世界

約1.5km  
約70分

生まれ育った場所だから分かる穴場、旅をしてきた丸山だから気づく街の名所を  
ご案内。街のことなら、この丸山風太郎に何でも聞かんね。

- 登録文化財 景観形成建造物
- 食事処 休憩
- お土産

**B-7 兵庫屋本店**  
味噌、醤油製造の老舗。加藤清正の家臣が武士を捨て質屋を始めたことが起り。築120年の赤煉瓦廻室では新町の写真を展示。  
[TEL] 096-352-0280  
[OPEN] 平日9:00-18:30 土曜9:00-12:00  
[休] 日・祝日・第2・第4土曜

**B-5 正妙寺通り**  
喧噪から離れ、木々が立ち並ぶ通りは、昔の面影をとどめている。

**B-6 吉田松花堂**  
どうき、息切れ、下痢、消化不良に効く「諸毒消丸」。シーボルトの弟子だった吉田順碩が熊本に流れ、「諸毒消丸」を創製。以来現在7代目。  
[TEL] 096-352-0341  
[OPEN] 9:00-17:00  
[休] 日・祝日

**B-8 くすり湯**  
江戸時代創業。神風連の乱の際、兵士が傷を癒したことから由来。常連のキープ酒ならぬキープシャンパーがあるなど独特の雰囲気。  
[TEL] 096-353-0609  
[OPEN] 14:30-23:30  
[休] 5・15・20日

**B-2 長崎次郎書店**  
明治7年創業の熊本県官報販売所。設計は、東京丸の内三菱煉瓦街を設計した保岡勝也。普通の本屋とは一風変わった空気が漂う。

**B-1 船場橋(せんば狸)**  
「あんたがたどこさ・・・」の「てまり唄」の舞台。洗場電停からは、電車が停車すると「てまり唄」が聞こえてくる。

**B-4 高麗門跡**  
加藤清正が城下に入りする人を監視するために作った城外横手方面に通じる唯一の門跡。切妻造りで屋根が小さく人の動きが異なってきた。

**B-3 菊の湯**  
現在も湯を沸かす原料に木材の廃材を使用した柔らかい湯が特徴。昭和の雰囲気漂う大衆浴場。  
[TEL] 096-354-5976  
[OPEN] 14:00-22:00  
[休] 3・13・23日

古城堀端公園

START



語り部 肥後てまり唄頭彰会の丸山歳之さん ☎090-9473-9491 (要予約)



吉田松花堂の「諸毒消丸」  
今でも変わらない江戸時代のお薬は  
金色!?どろきや消化不良に。(B-6)



くすり湯  
兵士の傷を癒したお湯は、少しぬる  
っとした肌触りでした。(B-8)

この丸山風太郎が、  
退屈な観光をさせる  
わけがない。

この街には、情緒があり、歴史がある。  
毎日の中で、心に触れるものを磨いて  
いく智恵があるんです。私が紹介するの  
は、よそ行きの顔じゃない、熊本の素の  
顔です。昔ながらの銭湯や薬屋、本屋、  
時には民家にも案内しますよ。故郷に  
少しでも恩返ししていなくては。

和  
samon  
の  
遊  
び  
心

# 坪井川「食」物語

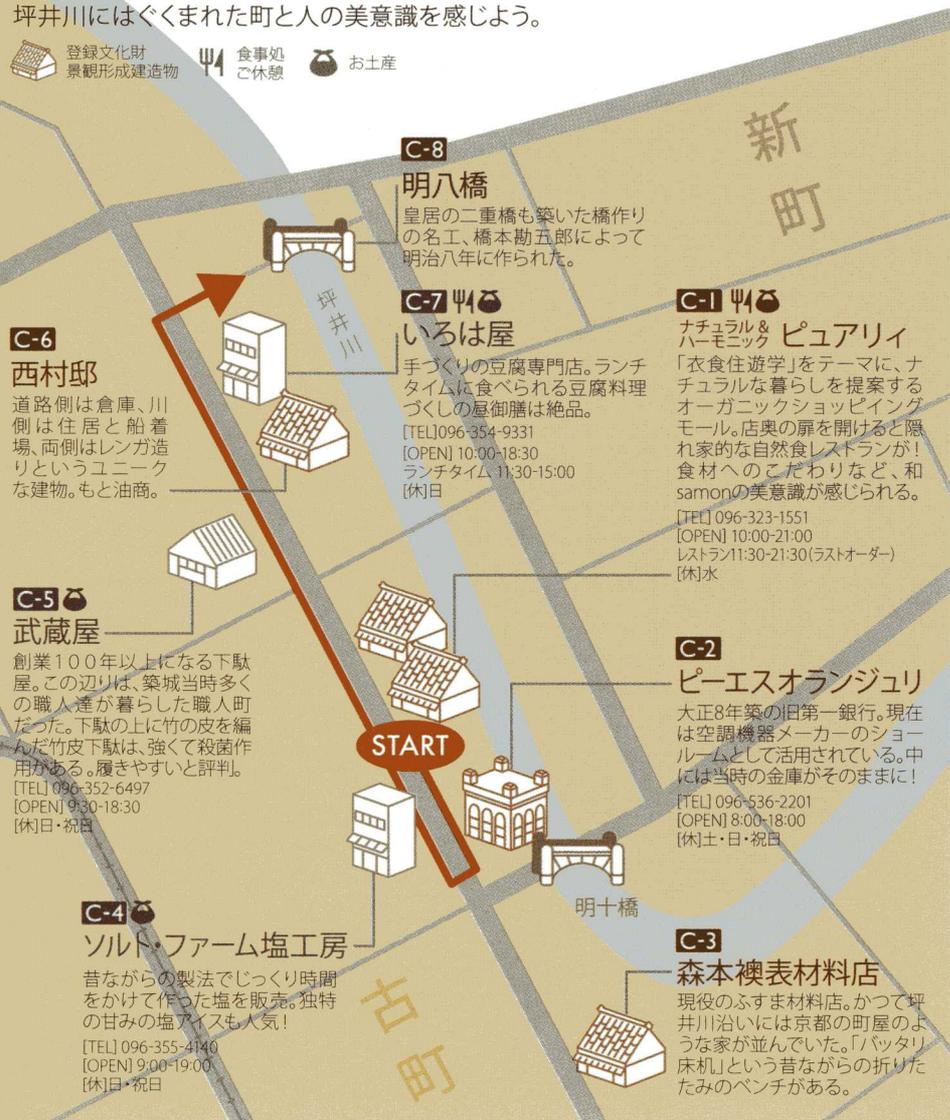
住まいへの美意識、食への美意識。ここには、感性を刺激する文化が流れている。  
坪井川にはぐくまれた町と人の美意識を感じよう。



約0.5km  
約30分



- 登録文化財 景観形成建造物
- 食事処 休憩
- お土産



**C-6**  
**西村邸**  
道路側は倉庫、川側は住居と船着場、両側はレンガ造りというユニークな建物。もと油商。

**C-5**  
**武蔵屋**  
創業100年以上になる下駄屋。この辺りは、築城当時多くの職人達が暮らした職人町だった。下駄の上に竹の皮を編んだ竹皮下駄は、強く殺菌作用がある。履きやすいと評判。  
[TEL] 096-352-6497  
[OPEN] 9:30-18:30  
[休日]・祝日

**C-4**  
**ソルト・ファーム塩工房**  
昔ながらの製法でじっくり時間をかけて作った塩を販売。独特の甘みの塩アイスも人気！  
[TEL] 096-355-4140  
[OPEN] 9:00-19:00  
[休日]・祝日

**C-8**  
**明八橋**  
皇居の二重橋も築いた橋作りの名工、橋本勘五郎によって明治八年に作られた。

**C-7**  
**いろは屋**  
手づくりの豆腐専門店。ランチタイムに食べられる豆腐料理づくしの昼御膳は絶品。  
[TEL] 096-354-9331  
[OPEN] 10:00-18:30  
ランチタイム 11:30-15:00  
[休日]

**C-1**  
**ナチュラル&ピュアライ**  
「衣食住遊学」をテーマに、ナチュラルな暮らしを提案するオーガニックショッピングモール。店奥の扉を開けると隠れ家的な自然食レストランが！食材へのこだわりなど、和samonの美意識が感じられる。  
[TEL] 096-323-1551  
[OPEN] 10:00-21:00  
レストラン 11:30-21:30(ラストオーダー)  
[休]水

**C-2**  
**ピースオランジュリ**  
大正8年築の旧第一銀行。現在は空調機器メーカーのショールームとして活用されている。中には当時の金庫がそのままに！  
[TEL] 096-536-2201  
[OPEN] 8:00-18:00  
[休]土・日・祝日

**C-3**  
**森本襖表材料店**  
現役のふすま材料店。かつて坪井川沿いには京都の町屋のような家が並んでいた。「バッテリー床机」という昔ながらの折りたたみのベンチがある。

**START**

新町

古町



贅沢じゃない。

日本人の「あたりまえ」だったことを  
取り戻したい、それだけです。



の美意識

無農業栽培、自家採取など、環境を守る産地との架け橋となって地元熊本でオーガニックライフ衣・食・住を提案しています。店舗は船着場を遺す築130年の古民家を改造したもの。人、建物、そして街の歴史を学び、現代に活かしていきたいです。



ソルトファーム塩工場の塩  
昔ながらの製法で作られた塩。  
これからは本物の時代。家庭の  
食卓には本物の素材を。(C-4)



明八橋  
明治八年に作られた橋。今では  
車道ではなくなって、地域の憩い  
の橋になっている。(C-8)

語り部 ピュアリーの反後人美さんと西岡哲也さん(左) 096-323-1551

